

第1学年 保健体育科学習指導案

日時 平成20年11月20日(木) 5校時

場所 新体育館

学級 1年1組(男16名)・2組(男17名)計33名

授業者 菊池久雄

1 単元名 バasketボール

2 単元について

(1) 系統性

球技には、ゴール型・ネット型・ベースボール型の分かれている。Basketボールは、ゴール型でありボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開することができる。互いにやり交わっての攻防ではフェアなプレイを守ろうとすることや分担した役割を果たそうとするなど作戦を考えて楽しむことができる。小学校の段階でもBasketボールは行われている。個人的技能の習得を重点的に身につけさせることによって、Basketボールに興味を持ち、ゲームを互いに楽しむことができる。

(2) 教材について

球技はボールを媒介として、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し得点を取り合って勝敗を競うことをねらいとし、チームの課題や自己の能力に適した課題の解決に取り組んだり、ゲームを楽しんだりする運動である。

Basketボールは、2つのチームがコート内で入り乱れながら相互に攻撃と防御を駆使し、一定時間内で得点を競い合うゴール型の運動である。Basketボールは、攻防の切り替えが早いので、運動量も多く、ボールコントロールや瞬時に変化する場面に応じた判断力を高めることに適した教材である。また、個人的技能と集団的技能を身につけさせるためにもパスやドリブル、シュートができた時や作戦がうまくいった時、チームのみんなの力が結集されて勝利した時に喜びを感じることができる。練習やゲームを通して、集団の目標を実現するために、自己の分担した役割を果たしたり、相互に協力し、計画的に安全に練習やゲームをしたり、ルールを守り勝負に対する正しい態度を学習させるのに適した教材である。

(3) 生徒の実態

Basketボールについての意識調査や技能知識、理解、マナーについての達成状況の実態調査からまとめて見ると

- ① Basketボールは、ドリブル・シュート・パスが面白い。また、飛ぶ・跳ねる・投げることなどすべてがそろっているのが楽しいと答える生徒が多い。
- ② パスよりもドリブル・シュートが上手になりたいと思っている生徒が多い。また、勝敗には、こだわることが仲間のプレーを見たり仲間と練習して楽しく学習したいと思っている生徒が多い。
- ③ リーダーが良く声を掛けて協力して活動できるクラスであるが自分たちで計画を立て学習を進めていくことに慣れていない。また、ゲームや資料から作戦やルールを工夫したりゲームを楽しむことにも慣れていない。
- ④ 失敗した者を責めたりする者もなく、仲良く協力的で雰囲気は大変良い。
- ⑤ 新体力テストの結果は、A0人・B9人・C10人・D10人・E5人である。劣っている部分は、柔軟性と筋瞬発力・全身持久力をあげるため年間通した補強運動を実施している。

【事前の意識調査結果】

1 体育(教科)は好きですか。	好き 84% ・ 嫌い 13% ・ その他 3%
2 球技は好きですか。	好き 88% ・ 嫌い 12% ・ その他 0%
3 Basketボールは好きですか。	好き 69% ・ 嫌い 18% ・ その他 13%
4 「好き」の人 Basketボールのどんな所が 好きですか。	スポーツだから、面白いから、ゴールを決める所、 ドリブル・シュート・パス楽しい、手を使うところ みんなで楽しめる
5 「好きではない」の人 それはなぜですか。	運動が苦手、疲れるから、ミスが影響する、球技だから、 シュートが下手だから、パスがこないから

(4) 指導にあたって

本単元では、課題練習(ゲーム)やチーム毎の話し合い(作戦)などを通して理解させる。ボールを持っていないときの動き方を工夫してゲームを楽しむ事がねらいとしている。

- ① 1年生段階であることを考慮し、パスを中心に基本技能を丁寧に扱うと共に、「素早い判断で動く」事ができるようにする。
- ② 基本技術をマスターさせることでゲームの中にBasketボールの特性が見られるようにする。ドリブルやパス・シュートのフォームがしっかり身につけさせる。
- ③ チームは技能の高い選手をバランス良く配置しながら、6チーム編成にする。ハーフコートでの課題練習などをテンポ良く行わせ、運動量を確保する。
- ④ 仲間の努力やプレーを認めるという意識を大切にするために、教師からのアドバイスや仲間同士の教え合い学習を取り入れた授業にする。また、生徒が互いに評価し合える場面を設定する。(学習記録カードなど)

(5) 校内研究との関わり

本校の研究課題は「自ら意欲的に学習する生徒の育成～基礎・基本の定着とその活用する学習課程の工夫を通して～」である。

個人的な技能を身につけ、反復練習と課題練習を通してゲームに活用できる技術の習得を確認しながら進めて行く。また、チームで励ましあったり、アドバイスしながら教え合い学習を大切に、チームワークを良くさせる。生涯にわたって運動を親しむ意識を芽生えさせ定着させていきたい。

3 単元の目標

(1) 指導目標

(2) 単元の評価規準

【関心・意欲・態度】

・自己の役割に責任を持って行動しながら、バスケットボールの特性に触れ、その楽しさ・喜びを味わいながら練習やゲームに進んで取り組もうとする。

【思考・判断】

・自分やチームの課題の解決を目指して、作戦を立てたり、練習の仕方を工夫したり、ゲームの中の動き方を工夫したりしている。

【技能】

・人やボールの動きに合わせてパスを受けたり出したり、少ないパスで素早い攻撃をしたりすることができる。

【知識・理解】

・バスケットボールの特性やルール、審判の方法を理解している。

4 単元の指導計画

(1) 単元構成

	段階 時数 流れ	は じ め											な		か		ま と め	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13				
学 習 過 程		オリエンテーション			個人技能の練習					個人技能を生かしたゲーム			まとめ					
	15分	○学習のねらいと道筋を理解しめあてや計画の見通しを持つ。			○学習準備 ○補強運動(ランニング・階段・馬跳) ○スキル学習(パス・キャッチ・ドリブル・シュート) ○学習計画を立てる。					○単元のまとめ ○グループ・個人の成果と反省を確認する。								
	18分	○学習カードの使い方を理解する。			○グループ練習(課題に沿った練習内容を工夫する。)													
	25分	○学習の約束を理解する。			○ゲームを楽しむ。													
	45分	○初めのゲームを行い自他の能力を知る。			○整理体操													
50分	○チーム編成と役割分担をする。			○反省、評価(グループ、個人) ○次時のめあての確認														

(2) 単元の指導計画と具体的評価規準(13時間扱い)

次時	学 習 活 動	評 価 規 準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
1	オリエンテーション ・学習の見通しをもつ。 ・バスケットボールの特性を知るとともに各自目標の設定の仕方や学習の進め方を理解する。	・バスケットボールの特性に興味・関心を持ち、運動の楽しさや喜びを味わおうとする。	・各運動のねらいを的確に判断し、考えて取り組んでいるか。		・バスケットボールの学習のねらいやゲームに必要な技術について説明する。
	ウォーミングアップづくり ・ウォーミングアップの原則 ・ドリル学習、個人	・ウォーミングアップの価値を感じ、自ら進んで取り組もうとする。	・個人技能の習得を積極的な態度で取り組む姿勢が見られるか。	・パス・ドリブル・シュートの基礎・基本技術の反復練習。	・基礎・基本技能を具体例をあげて説明している。

2	技術の習得 (パス・キャッチドリブル・シュート技能) ・試しのゲームで個人やチームの学習課題を設定する。				
3 4 5 6	個人的技能 ・パス、キャッチ、ドリブルを高める。	・個人技術 (パス・キャッチ・ドリブル) ができ、さらに技能の向上を積極的にめざしているか。	・運動のねらいに応じた動きになるよう工夫しながら取り組んでいる。	・パスの種類やボール感覚を養い、特性にバスケットボールの特性に合った動きができる。	・バスケットのゲームに必要なルールを説明する。特別ルールを決めて取り組む。
7 8 9	個人的技能 ・シュートを高める。	・シュートの楽しさに触れ興味、関心が更に味わおうとする。	・正確なシュートができるように、さらに技能の向上を考えながら取り組んでいる。	・練習時に繰り返し、適切にアドバイスをする。	
10 11	個人的技能を使って、二人でのコンビネーションプレーからシュートまで持っていく技能に関心をもとうとする。	・より正確なプレーができるようにチームや自らの課題を明らかにし、練習を工夫しようとする。	・相手や自チームの特徴に応じた作戦を理解し、ゲームの中でチーム全体に的確に指示をして攻防ができる。	・ゲーム時や練習時に効果的なアドバイスを与える。	・特別ルールを採用し、正規のバスケットのゲームができる準備をさせる。
12 13	単元全体を振り返り、学習の反省を行う。	・学習したことをゲームに生かす個人技を身につけることができた。	・ゲームの中で個人的技能はもちろん集団的技能も十分に身に付けることができる。		

5 本時について

(1) 本時の目標

- ① 仲間と協力し、課題解決に向けて教え合い励まし合いながら、課題練習に取り組もうとする。
- ② ゲームの中からチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決を図ろうとしている。
- ③ 課題練習 (グループ学習) や試合でゴール下のシュートを意識したゲームをする。

(2) 学習内容と具体的な判断規準・支援

学習内容	評価規準	具体の評価		規準の内容を実現していない生徒への対応・手だて
		十分満足できる状況	おおむね満足できる状況	
関心・意欲 態度	・ボールをつないで攻撃したり、チームの仲間と協力して進んで課題練習に取り組もうとする。	・ゲームの中でボールをつないだり、ボールがない時の動きを考え、アドバイスしたり、動き方を認めたりし率先して課題練習に取り組もうとする。	・ボールをつないで攻撃できるようにチームの仲間と協力し、進んで課題練習に取り組もうとする。	・動き方や練習・ゲーム内での役割の果たし方の良さなどを具体的に紹介したり一人一人の頑張りを認めたりする。
思考・判断	・シュートを意識してシュートできる場所へ移動して待つ事ができる。また、たくさんシュートを狙うことができる。	・ボールを持っている時に人やボールの動きに合わせてパスやシュートを瞬時に判断して素早く行うことができる。	・シュートを意識してシュートできる場所へ移動して、待つことができる。また、たくさんシュートを狙うことができる。	・人やボールの動きに合わせてパスやシュートをもらえる場所へ移動し、パスを受けられるように具体的に指導する。

(3) 本時の展開

	学習過程と5つの視点	学習内容及び学習活動	○ 具体的評価規準 * 対応・手立て
導入 15分	1 用具準備、ランニング 年間補強運動 2 基本技術スキル (ボール遊び、パス、シュート、ストレッチも含む) 【①興味・関心・意欲】 3 あいさつ 4 授業計画を説明 5 課題確認 【②目的意識】 ○リーダーがグループ目標を を発表する。	1 積極的に取り組む姿が見られる。 ・年間目標を持って取り組む。 2 基本スキルの習慣化が見られる。 ・個人技術のスキルの向上を図る。 3 大きな声であいさつする。 ・見学者の確認と健康観察。 4 グループや個人にあつためあてを決める事ができる。また、学習の進め方や、練習方法などについて理解が深まる。 5 リーダーに発表させ、学習意欲を高めさせる。	○ 準備運動に積極的に取り組んでいるか観察視点する。 ○ 基本スキルが身についているか。 * 巡視してできない生徒へのアドバイス。 ○ しっかり目標を立てているか観察視点する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 課題 ゴール下のシュートを決めよう </div>			
展開 30分	6 ゴール下のシュートを工夫する。 【③予想・見通し】 ○バックボードを利用したシュート練習。 ○ポストショット 7 グループ同士のゲームを楽しむ。 【④所属感・貢献感】 ○特別ルールでゲーム ・2シュート終了&3分間ゲーム ・人数は、不均等でも良し。 ・勝敗は、総勝ち点で決める。 *勝ち 2点 *引き分け 1点 *負け 0点	6 めあてをもつことにより練習の達成感を感じることが出来る。 ○教え合い学習を促す。 ○練習ポイントを指示してやる。 7 ゴール下のシュートを工夫させる ○特別ルールの確認をする。 ○試合の無いチームは、得点係と審判を行う。 ・審判は、各リーダーが行う。	○ 積極的に各グループの目標が達成されているか確認する。 * 仲間のプレーやアドバイスによって、つまずきをなくす。 ○ 「めあて」を意識できない生徒へのアドバイスをを行う。 ○ 特別ルールの把握ができているか。
終末 5分	8 学習のまとめ 【⑤進歩感・成就感】 今日の学習についての自己評価と反省をする。 9 次のめあてを確認する。 10 整理運動、挨拶 11 後始末	8 今日の学習を振り返り目標達成について話し合わせる。 9 数名に反省を発表させる。 10 今回の反省を次回に活かせるようにする	○ 反省文をきちんとかけるように指導する。 ○ 健康観察・怪我の有無の確認

BasketBall 個人学習カード

1 年 組 番 氏 名

<チームプロフィール>

チーム名

<メンバー>

氏名	氏名	氏名	氏名
氏名	氏名	氏名	氏名

チーム目標

--

< 個人評価 >

自己評価の観点 【 A：十分達成できた B：達成できた C：達成できなかった】

- ① チームで協力し、進んで準備や練習・ゲームをしよう。
- ② 作戦を立てたり、練習を計画したり、工夫して動けた。 S：シュート数
- ③ 人やボールの動きに合わせて、動いてシュートを決めることができた。 T：得点数

時数	授業のテーマ	評価	今日の反省	S T
1	オリエンテーション	A B C		/
2	ゲームからチーム課題を発見しよう 目標：	A B C		/
3	個人的技能（動きながらのパスキャッチ） 目標：	A B C		/
4	個人的技能（1対1のドリブルの仕方） 目標：	A B C		/
5	個人的技能（ドリブルからシュート） 目標：	A B C		/
6	個人的技能（ボールキープの仕方） 目標：	A B C		/
7	ドリブルを中心にゲームをしよう 目標：	A B C		/
8	ゴール下のシュートを決めよう 目標：	A B C		/
9	コンビネーションからシュート 目標：	A B C		/
10	少ないパスからの攻撃を活かしたゲーム工夫 目標：	A B C		/
11	各チームで作戦を立ててゲームしよう 目標：	A B C		/
12	これまでの学習を活かしてのゲーム 目標：	A B C		/
13	チーム総反省	A B C		総 S 本 T 点

保健体育アンケート調査

H20. 10. 22 (水)

○ 種 目 「バスケットボール」

*あてはまる欄に○を付けてください。

1年 組 氏 名

質 問 項 目	は い	いいえ	その他
Q 1 体育（教科）は好きですか。			
Q 2 球技は好きですか。			
Q 3 バスケットボールは好きですか。			
Q 4 「好き」の人 スケットボールのどんな所が好きですか。			
Q 5 「好きではない」の人 それはなぜですか。			